

針金のない入れ歯を ご存知ですか？

歯が抜けた後に行う治療として、自分で取り外しのできる部分入れ歯があります。保険診療でできる部分入れ歯は、歯茎の部分をレジンというプラスチックで覆い、残った自分の歯に金属の針金をかけているのが特徴です。

部分入れ歯を入れられている方の不満で、①笑うと金属の針金が見える。②入れ歯がガタガタする、落ちやすい。③入れ歯が分厚いのでしゃべりにくい、ご飯がおいしくない。④噛むと痛い、などを多く聞きます。

「ノンクラスプデンチャー」という針金を使用しない入れ歯があるのをご存知でしょうか？これは、保険診療のプラスチックの入れ歯とは違い、弾性のある形状記憶の特殊な樹脂でできた入れ歯です。歯に引っかけ針金はないので、見た目も良くなります。また、硬い針金と違い、引っかけ歯への負担が少なくなり、入れ歯の厚みもかなり薄くできるので装着感もよく、しゃべりやすくなります。歯茎にもびったり合うので、噛んだ際の痛みも少なく強く噛むことも可能となります。

ただ、歯周病などで歯が揺れていると「ノンクラスプデンチャー」はうまく機能しませんので歯周病の治療・予防が大切です。

入れ歯でお悩みの方は、歯科医院までご相談ください。

※ノンクラスプデンチャー 8万円(税抜)～(歯の本数によって変わります。)



院長
山下 浩二
さん

はみがき歯科クリニック

高知市北久保18-1(トヨペットさん東向かい)

☎ 088-856-8516 11台

●一般歯科・小児歯科・歯科口腔外科

●診療時間(日曜・祝日 休診)

月～土 9:00～13:00 14:30～18:30

はみがき歯科 検索